

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第29週（7月15日～7月21日）

## 今週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種

### 定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症 全ブロックで3週連続増加」

第29週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,290例であり、前週比16.8%減であった。定点あたり報告数の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ8.08、3.14、2.21、1.48、0.81である。

手足口病は前週比18%減の1,591例で、中河内12.05、南河内10.25、北河内9.88、大阪市南部9.78、大阪市西部8.90であった。

感染性胃腸炎は13%減の618例で、北河内4.96、中河内4.21、大阪市南部3.72である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は21%減の436例で、南河内4.13、堺市3.42、大阪市南部3.06であった。

ヘルパンギーナは10%減の292例で、大阪市北部2.93、中河内2.68、南河内2.56である。

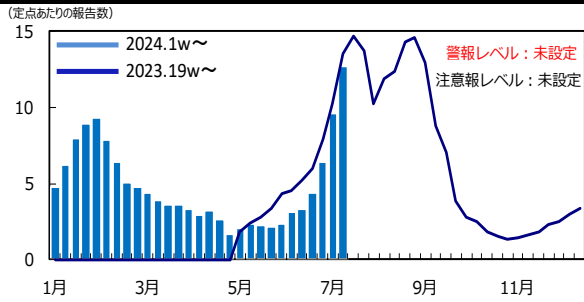
RSウイルス感染症は22%減の160例で、大阪市北部1.71、北河内1.24、南河内1.13であった。

インフルエンザは19%減の121例で、定点あたり報告数は0.40である。大阪市西部0.67、大阪市北部0.55、堺市0.52、北河内0.49、南河内0.46であった。

新型コロナウイルス感染症は32%増の3,892例で、定点あたり報告数は12.72である。大阪市北部15.55、堺市14.76、北河内14.68、大阪市東部13.77、南河内13.04であり、全ブロックで3週連続増加していた。2024年第1週以降の新型コロナウイルス感染症入院サーベイランス累計報告数は70歳以上が70%を占めている。

基幹定点把握疾患のマイコプラズマ肺炎は、前週から6例増の41例の報告があり、定点あたり報告数は2.28である。

#### 新型コロナウイルス感染症



#### 手足口病

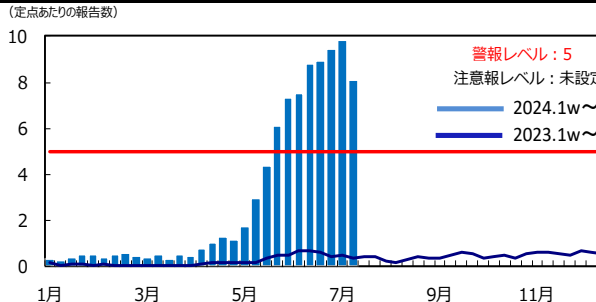


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第29週7月15日～7月21日）

第29週の順位	第28週の順位	感染症	2024年 第29週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第29週の 定点あたり 報告数	2024年第29週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	手足口病	8.08	18%減	0.31	1歳_25%
2	2	感染性胃腸炎	3.14	13%減	2.68	1歳_18%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.21	21%減	1.93	5歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	1.48	10%減	3.11	2歳_20%
5	5	RSウイルス感染症	0.81	22%減	1.46	1歳_43%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	12.72	32%増	13.56	10-19歳_15%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、

本文には詳細に記載していません。

## 第29週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

### 全数把握感染症

#### 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ペロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期において、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。

[腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）](#)  
[腸管出血性大腸菌感染症とは（国立感染症研究所）](#)

#### 年別累積報告数（大阪府）

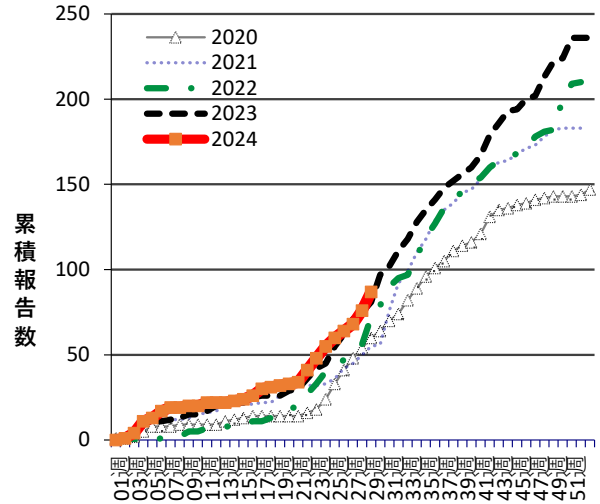


表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第29週7月15日～7月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患 をご覧ください。）

疾患名 ( ) 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	11		2	3	2	1	2	1		87
4類感染症	E型肝炎	1						1		2
	日本紅斑熱	1						1		7
	マラリア（病型不明）	1							1	4
	レジオネラ症（肺炎型）	1	1							64
5類感染症	アメーバ赤痢	1	1							23
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	1	2						90
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2						1	1	68
	後天性免疫不全症候群	1							1	53
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1						40
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		1				1		156
	梅毒	18		3		3		1	11	1063
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1			11	
結核 (2024年5月分)	結核 新登録患者数：87名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 33名) (府内累積報告数 413名、内 肺・喀痰塗抹陽性 157名)									

(2024年7月23日 集計分)